

## 平成 26 年度第 2 回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 平成 26 年 8 月 22 日（金） 午前 9 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
- 3 出席者 雲尾委員長、村田委員、渡邊委員
- 4 説明のための出席者  
長谷川教育長、池浦教育部長、笹川教育総務課長、久住子育て支援課長、樋山小中  
一貫教育推進課長、前澤教育センター長、長谷川生涯学習課長、清水教育総務課長  
補佐、大谷教育総務課庶務係長

5 傍聴人 0 人

6 会議次第

- (1) 開会
- (2) 平成 26 年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について
- (3) 閉会

7 会議の経過及び結果

(1) 開会

(長谷川教育長)

それでは改めましておはようございます。まだまだ暑い日が続いておりますが、委員の皆様には、大変御多忙の中、今年度 2 回目の教育事務点検評価委員会に出席をいただきまして、本当にありがとうございます。7 月 8 日に第 1 回を開催させていただいたところでございますが、その委員会におきまして、いろいろと御指摘や御指導をいただいたところでございます。本日その対応等につきまして御説明申し上げ、また御意見をいただく中で、報告書としてまとめまして市議会、または市民の皆さんに公表してまいりたいと考えてございますので引き続き御指導いただきますようお願い申し上げます。

本日は資料等も多くございますが、よろしくようお願い申し上げます。ありがとうございます。

(2) 平成 26 年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について

- ・小中一貫教育推進課、教育センター所管分について、前澤教育センター長から説明あり

(雲尾委員長)

では、ただ今の小中一貫教育推進課、教育センター所管部分につきまして質問がありましたらお願いいたします。

(村田委員)

報告書の2ページの「評価」のところの記載ですけれども、冒頭「平成25年度は、小中一貫教育全面実施初年度として」とつながって、2行目で完結しているわけなんですけれども、初年度ということは非常に大事なことだと思いますので「初年度である。」で切ってしまった方が文章としては短くなってわかりやすいと思います。

それから、3ページの「外部の方からの主な意見等」の「市の対応状況」の説明の2行目に、「講演会やパネルディスカッション、そして平成24年度において実践発表会をやった」という文章がありますけれども、パネルディスカッション、その「平成24年度において」という実践発表会までのところを、次の3行目の「など」の次に入れた方が文の流れとしては自然のような気がいたしますが、いかがでしょうか。

もう1つ同じく3ページの「今後の方針」の下の方の4行のところに、「确实」というのが2つ入っているんですけど、确实に進めていくという意欲的なものはよくわかるんですけども、同じのが重ねて出てくるというのがちょっと文章的に重苦しいなという気がします。一番最後の「确实に準備を進める」の确实は取って、「開催に向けて準備を進める」と結んでも問題はないと思います。

(雲尾委員長)

では、まず1点目ですね。「評価」のところの実施初年度についてはいかがでしょうか。

(前澤教育センター長)

御指摘の意図はよくわかりました。そのような形で修正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

シートの方はそのままでもいいということですか、村田委員。

(村田委員)

シートも同じなので、切った方がいいと思います。

(前澤教育センター長)

シートの方もそのように直させていただきます。

(雲尾委員長)

それから2点目、何を移すというお話をしていらっしゃいました。「パネルディスカッション」を移す。

(村田委員)

いえ、「平成24年度においては市内全9中学校区の取り組みの実践発表会などを開催してきている」とありますよね。それを、「パネルディスカッション」の次に「など」を持ってきて、「パネルディスカッションなど、平成24年度においては全市」というのをに入れて、そこに移した方がいいと思います。

(雲尾委員長)

「など」を「パネルディスカッション」の後に入れると。

(村田委員)

「パネルディスカッション」の次に「など」と入れて、その次に「平成24年度」という文言をもってきたらいいんじゃないかなと。

(雲尾委員長)

「実践発表会が」と「講演会やパネルディスカッション」は同じものかどうかということですよ、そうなる。

(村田委員)

そうじゃないかと私は思ったんですけども。

(前澤教育センター長)

実はこの前段の部分は、年度の表記がございませんが、平成20年度以降このような形で毎年度実施しておりまして、それらを一旦まとめる形での実践発表会を平成24年度に実施しましたというような文章になっておりますので、「など」の後ろに持ってきますと、平成24年度に全部それがかかってしまうのかなというふうな思いもございますので、この文のとおりお願いできればと考えております。

(雲尾委員長)

イメージ的には「毎年度1回以上」という言葉は、その「パネルディスカッション」までかかっているの、これが23年度までにいろいろやってきたことであって、24年度には実践発表会を行ったということで、ディスカッションの後に入れるというわけにいかないということなんです。

(村田委員)

わかりました。

(雲尾委員長)

それから「今後の方針」の「確実に進める」が2つということですが、これはどうですか。

(前澤教育センター長)

御指摘のとおり、最後の一番下段の3行目の「確実に」というところは取らせていただきたいと思っております。

(雲尾委員長)

どちらを取るということですか。「確実に準備を進める」の方ですか。

(前澤教育センター長)

一番最後の「確実に」を取りたいと思っております。

(雲尾委員長)

では、これは、評価シートの方も同じということですかね。

(前澤教育センター長)

はい。

(雲尾委員長)

あと、その「市の対応状況」の中で、今のところの真ん中に「一貫教育紹介リーフレットの作成」の後の「毎年4月市内全戸配布や市の広報紙で」というのは、この「毎年4月市内全戸配布」というのは何を指していますか。

(前澤教育センター長)

これは、その一貫教育紹介リーフレットです。

(雲尾委員長)

リーフレットを作成して、4月に全戸配布しているという意味ですか。

(前澤教育センター長)

はい。

(雲尾委員長)

そうすると、ちょっと読み取りにくいので、「リーフレットの作成」の後に括弧して毎年4月市内全戸配布、括弧とじの方がいいんじゃないですかね。

(前澤教育センター長)

そのような意味でございますので、わかりやすい表記にしたいと思いますので、御指摘のとおり修正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

あともう1点、「今後の方針」の3行目の「保護者や地域住民の小中一貫教育へのより一層の理解、浸透を図るために」のところなんですけど、「…への理解、浸透をはかる」、これは並列していいのかなと思うんですけど。一貫教育への浸透を図るはいいんですね。一貫教育への理解を図る、どうでしょうかね。日本語というふうに。

(村田委員)

「浸透を図る」にそれがくると、ちょっとあれですよ。

(雲尾委員長)

「…への理解」はあるけど「…への浸透」はないってことですね。

(前澤教育センター長)

小中一貫教育のより一層の理解、浸透を図るというふうに「へ」を取っても意味は変わらないと思いますので、「へ」を取らせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

「一貫教育のより一層の理解、浸透」ということですね。

(前澤教育センター長)

はい。

(雲尾委員長)

それをしても、「小中一貫教育のより一層の理解、浸透を図る」

(前澤教育センター長)

理解も浸透も、結局のところそこを狙っているところはでございますので、「小中一貫教育への」ということは生かすことにして「小中一貫教育への理解をより一層図るため」というふうな。

(雲尾委員長)

シートも同じくですね。「小中一貫教育への理解をより一層図るために」というふうに、報告書案も、シートも変えるということをお願いします。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

- ・小中一貫教育推進課所管分について、樋山小中一貫教育推進課長から説明あり

(雲尾委員長)

では、まず1番の(2)ですので、シートは3、4ページですね。そして報告書案は4、5ページ。そして修正対応は2ページのところとなります。1の(2)につきましていかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の4ページの主な事務事業のところですけども、ここの文末が「指導していく」となっているんですね。それで、この指導するのは、教育委員会が指導するのはここに限らず、みんな指導していくんだと思います。それで、ここにだけ指導していくということがばしっと出ていますので、この指導していくというのはいらないと思います。それで、この文章を見ると、「学力向上に向けて、」で点が打ってあって、「Web配信システム活用研修会」、何々を行いとなっていますが、このWeb配信システムとか、デジタル教科書活用研修会というのは日々の授業改善に生かすためにこういうのをやるということだと思いますので、2行目の「日々の授業改善に生かしていくことを指導していく」という書き方じゃなくて、学力向上に向けて、その次に日々の授業改善に生かすために「Web配信システム活用研修会、デジタル教科書活用研修会等を行う」というふうな書き方をしてもいいのではないかと思いますし、その方がわかりやすいと思うんですけど、どうでしょうか。

それと、その下の「評価」のところですが、2行目に「詳細にデータを分析すると改善されつつあるのだ、だから今後の取り組みによって良い方に転じていく、目標維持に転じていく」というのがありますが、この「詳細にデータを分析すると」の辺りが曖昧だなと思います。これは、どういう分析があったのかと思います。それで、この内容を長々と説明してく

ださいというのではないんですけども、端的にこの詳細なデータ分析を表現できないのかな、そうしたら、そこにちょっと入れていただければいいなというふうに思います。いかがでしょうか。

それから3番目ですが、「今後の方針」のところの5ページに「各中学校区を指導する」というのが全段落とその次の段落に出てきますけれども、前にも「指導する」と言わず、そういう立場にあるのだからということを上上げたわけですけども、この「指導する」も削って、「する」というだけではいけないのでしょうか。

(雲尾委員長)

では、まず「主な事務事業」の学力向上研修会について、いかがでしょうか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

御指摘のとおり訂正させていただこうと思います。

(雲尾委員長)

「学力向上に向けて」の後に「日々の授業改善に生かすために」ということを入れて、「研修会等を行う」で終わらせるということですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。あと、「詳細にデータを分析」について、確かにわかりにくいですし、具体的に書ければ一番いいと思いますので検討させていただこうと思います。

(雲尾委員長)

「詳細にデータを分析すると」を取ってしまうということも。

(樋山小中一貫教育推進課長)

それも考えました。取らせていただいた方が誤解がないのかなと考えました。

最後、やはり「指導する」というのは我々の立場でございますので、わざわざそういう文章は必要ないという御指摘どおり、文章を変えさせていただきます。

(雲尾委員長)

いずれも変えるということですね。両方ともですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(池浦教育部長)

最後の文章は「…充実させたりする」で切り、その後の「よう各中学校区を指導する。」を取るということですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そうですね。例えば「向上策を検討する」「充実させる」つまり中学校区がなくなってしまいうんですが、これは中学校区でやる、会議でやるという前提ならば、なくてもいいのかな

とは思うのですが。「主な事務事業」の中に「中学校区ごとに」という記載がありますので、ここで改めて「中学校区を指導する」じゃなくて、「検討する」「充実させる」でいかがでしょうか。

(村田委員)

それに、そこにも「中学校区としての学力向上策を必ず取り上げる」というふうにもありますよね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そうですね。重複します。

(雲尾委員長)

1つ目は、今後の学力向上プロジェクト内容という中で「検討する」なので、それは読み取れますよね。2つ目の方も、「教育センター主催の学力向上研修に新設したり、乗り入れ授業を一層充実させたりする」。新設したり、これは主体は研修ですよね。そして乗り入れ授業を一層充実させたいと、これは学校にですよね。

(村田委員)

これ、ちょっとくどいんですけど「一層充実させたりするようにする」というのはおかしいですか。

(雲尾委員長)

「新設したり」はセンター主催なので、教育委員会がやることなので、そこはもうそれで読み取れるんですよね、したいと。でも、「乗り入れ授業を一層充実させたりする」というのは、これは学校に対してということなんですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(村田委員)

この「乗り入れ授業を」の前に「各中学校区は」というふうに入れたらどうですか。

(雲尾委員長)

「新設する」で切ってますね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。「たり、たり」にならないように、「新設する。また、各中学校区には乗り入れ授業を一層充実させるようにする」。もう一度確認しますと「研修講座を新設する。また、各中学校区には乗り入れ授業を一層充実させるようにする」どちらも主語が教育委員会になります。

(雲尾委員長)

上は、その前の中も「検討する」で終わらせておいて、「今後の方針」をそう変えるとい

うことですね。

あとは、「主な事務事業」なんですけども、ここで小中学校の教師が「共通理解を図りながら」ということで、ここだけ教師が出てくるんですけど。「教員」でなくてよろしいですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

すみませんでした。訂正し忘れてました。「中学校の教職員が共通理解を図りながら」で統一したいと思います。

(雲尾委員長)

ここは「教職員」ですね。では、今のところはいずれも、シートも同じように変えるということ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

この同じシートの中に「教員」と「教職員」と、そして「教師」が3つ出ておりましたので、整理したいと思います。

(雲尾委員長)

「授業力、指導力」なので、ここは「教員」でいいと思いますね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。「教員」に訂正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

まとめていうと5か所ですかね、今のところを、シートの方も変更するというご願ひいたします。

では1の(2)はよろしいでしょうか。

1の(3)でございます。ここに付きましていかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の「今後の方針」の7ページの下から3行目ですけれども。「使用施設の選定等を改めて行い」とありますが、この「改めて行う」というよりも「見直す」ということをやられるのではないかと思いますので、「使用施設の選定等を見直す」というふうに文言を変えた方が文のとおりが良いのではないかと思います。

それから、下から2行目の文末ですけど、「さらに事業の趣旨や魅力を伝える工夫をする。」とありますが、どんなことを考えていらっしゃるのか、少しこの事業の趣旨や魅力を伝える、このような工夫をするというようなのがもし入れられたら、入れていただいた方が良いのではないかと思います。

(樋山小中一貫教育推進課長)

1点目の「見直し」についてはそのように変えさせていただきます。



2点目、いかがでしょうか。PRをしたいと思っています。英語でよろしいでしょうか。「PRの工夫をする」。もっとふさわしい言葉があったら、御指導いただければありがたいです。

(雲尾委員長)

その根本は、報告書案で言えば「評価」Bの2段落目に「事業の魅力をもっと伝えられなかったことにより参加者数が減少した「わくわく科学フェスティバル事業」」とありますが、この「わくわく科学フェスティバル事業」の参加者数の減少の原因は、事業の魅力をもっと伝えられなかったことっていうことは、どういう根拠によって出てくるんですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

別の事業にぶつかったという日程的な問題ではなかった。それと暑いというようなことは確かにあったのですが、それ以上にこういったものがしっかりと魅力ある事業なんだと、行ったら楽しそうだ、また、友だちみんな行く、だから僕、私たちも参加したい、そういった事業の本当の好奇心を揺り動かすような、そういったPRをしていく必要があるんじゃないか、それが10年目にもなって不足してきてるんじゃないかということで、新たにその観点から見直していこうと考えたわけです。

(雲尾委員長)

10年目になると、逆に前の年に経験した子どもたちはまた行きたいなと思って行くわけですよね。だから、そここのところのつながりがよくわからないんです。毎年やってきてるんだから、今までの子どもたちはリピーターになってくれれば、少なくとも確保できるわけですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そうですね。リピーターがだんだん少なくなったっていうようなことは分析されてないんですが、新たな子どもたちの掘り起こしができていなかったのかもしれないし、こちら側の捉えとして今までどおりしていればいいっていうところで、また、子どもたちの興味関心が変わってきているのかもしれないので、そういったところも考えながらPR活動に取り組んでいきたいと思います。

(雲尾委員長)

さっきの「見直し」なんですけど、この「見直し」ってどこまでかかっているんですか。「使用施設の選定」だけではないですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。人選、開拓。

(雲尾委員長)

開拓の見直しっていうのは何かおかしくないですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

新規内容の開拓の見直し。ちょっとつながらないですか。

(雲尾委員長)

単純に、内容の見直しだったらわかるんですけど。新規内容の開拓になっちゃうと、それを見直すっていうのは。新規内容の開拓の見直し。そもそも新規内容だけ見直しをすると、既存の内容は見直さないということになってしまうので、要は単純に内容の見直しですよ。

(村田委員)

そう思うと「改めて行い」の方がいいんでしょうかね。

(雲尾委員長)

3つにかかっていますので、「人選を改めて行う」はありえますよね。

(村田委員)

「改めて行う」でいいんですけども、何か改めて行うのかな。見直すんじゃないかなと思ったんですけども、確かに、先生がおっしゃったみたいに、新規内容の開拓の見直しというのも変ですもんね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

10年目を迎えるので、それを節として人選を行う、新たな内容の開拓を行う、使用施設の選定等を行う。「改めて」を消して、「行う」だけでいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

「その迎える」で文章自体は切るんですか。つなげちゃうんですか、今のお話。10年目の節目を迎える。迎えるはそのままでもいいですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。それで、そのためっていうような意味合いで文章が続いてくっついてというようなことで。

(雲尾委員長)

文章自体にはそういうことは書かないけれども。

(樋山小中一貫教育推進課長)

書かないけれども、前の文章を受ければそのようにとっていただけるんじゃないかなと思います。

(池浦教育部長)

つなげてでもいいですね。「迎えることから」とか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「迎えることから、」を加え。

(雲尾委員長)

「迎えることから、」に変えると。

(村田委員)

改めてってつけられた気持ちはよくわかりますよね。だって、前あったものを改めてそうやって行っていくんですもんね。

(渡邊委員)

「改めて」がないと、逆に今までしてなかったみたいにとられますよね。

(村田委員)

そうですね、ちょっと変ですもんね。「改めて」を先に出すと変でしょうか。「10年目の節目を迎えることから、改めて指導講師の人選に加え」、「人選」だけでもいいでしょうか。

(雲尾委員長)

「人選」でいいですね。

(村田委員)

「新規内容の開拓、使用施設の選定等を行う」

(樋山小中一貫教育推進課長)

ありがとうございました。

(雲尾委員長)

と変えて、「さらに授業の趣旨や魅力を伝えるPR」、広報でもいいですが。

(村田委員)

PRもすごく使われている文言ですので、それは別に使われてもよろしいのではないかと思います。

(雲尾委員長)

片仮名でピーアールでいいですかね。後ろの方は片仮名でしたっけ。

(池浦教育部長)

アルファベット

(雲尾委員長)

アルファベットでPR、二文字PR。じゃあ、こっちの方が短いということで。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「PRの工夫をする。」とさせていただきます。

(雲尾委員長)

ということで、これはシートについても同じように変えるということですね。

ほかに1の(3)、よろしいでしょうか。では1の(4)、「食育・体力づくりの充実」でございます。これについてはいかがでしょうか。

(村田委員)

8 ページに体力テストというのが出てきますよね。体力テストがわからない人はいないとは思いますが、体力テストというのは、どういうものなんだということを、どこかでちょっとならしていただけたらいいんじゃないかなと思います。

それから2つ目は「評価」のところの2段落目ですけれども、「体力づくりでは」というところで、「取組が継続されているが、今年度は」というふうになってますよね。「1 学校 1 取組を核として体力向上の取組が継続されている」で切って、そして「今年度は」というのは 25 年度に決まっているんですけれども、「25 年度の体力テストで 32 項目中 5 項目が県平均を上回るにとどまった」というふうにしたらどうでしょうか。1 つ切るということと、今年度、25 年度と明示した方がいいんじゃないかということとに、その末に「25 年度の体力テストでは 32 項目中」と、文言を一つ足した方がいいんじゃないかということです。そして、その 5 項目ですけれども、もうちょっとで県平均に達するものを全部出してもらってあるわけです。県平均を上回った項目についてはどこにも出ていないので、これをやっぱり出していただければなというふうに思います。

それから、9 ページのところの「市の対応状況」ですけれども、数値でいろんな改善が図られてることがわかりますが、これはこれでよろしいかと思うんですけれども、以前に渡邊委員が、うちではこんな変化があるとおっしゃったのがすごく私は印象的なものですから、親や子どもが、自分の言葉でどんなふうにこの変化を捉えてるか、そういう短い文章を載せられれば、それともこういうところに、そういうのは載せるのはふさわしくないのか、そこら辺もちょっとわからないままに言うわけなんですけれども、親や子どもの短文による心情の表記がここに載ったら、さらに、そうなんだねということを訴えることができるんじゃないかなと思います。

(雲尾委員長)

1 点目、体力テストの説明はどうされますか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

8 種別の種目の内容でしょうか。

(雲尾委員長)

体力テストとはそもそも何かという話ですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

体力テストはどのような目的で、どのようなものなのか。例えば文部科学省だとか、県が調査している、このような目的でやっている調査であるという説明の方がよろしいでしょうか。

(村田委員)

簡単にそういうことをどこかで書いていただくといいと思うんですけれども。

(樋山小中一貫教育推進課長)

欄外に、体力テストの定義について補足したいと思います。

(村田委員)

そして、準じて、8種目というのを出すことも可能ですよね。準じて、県も市もそういうふうにしてやってるんだって。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。8種目とはこの種目なんだということを、体力テストの定義を欄外に記載するとともに書きたいと思います。

(雲尾委員長)

「体力づくりでは」の、「継続されている」で切った上で「平成25年度」に変えて、5項目についてはどうしますか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そのように変えさせていただき、5項目、括弧、何々というふうにして、「が県平均を上回るに留まった」が……。

(村田委員)

あとはそのままいいんじゃないでしょうか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そのまま。「は、達しなかった」というようなことで。

あと、「市の対応状況」は数値だけじゃなくて、保護者や子どもの言葉を入れた方がいいんじゃないかという御指摘でございますが、それは前も御指摘を受けて、「評価」のところの2行目、「栄養バランスや彩を意識したり、家族分の弁当や夕食づくりにも取り組んだりするなど、子どもたちの食や健康への関心を高めることができた」という文章を1行入れさせていただいたんですが、今度は生活習慣でどう改善されたかという言葉を入れた方がいいのではと、生活実態調査の中にあるのではと、調べたのですが、そこではそういう感想文があまりないので、検討させていただきます。

(村田委員)

難しいですね。生活習慣の改善がなされたかっていうのは。

(雲尾委員長)

そちらの方はいいですか、もしあれだったら。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

今の、「評価」の方の体力づくりの変更はシートも変更するということですがけれども。体力づくりについてはシートの方には書く必要はないですかね。シートの方ではね。体力テス

トの説明はシートの方ではいらないでいいですか。報告書の方だけ、読む方の層が変わってくるので、いるのではないかとということで、分けていただくということでお願いします。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そうさせていただきます。ありがとうございます。

(雲尾委員長)

あと、シートの関係ではなくて、報告書の方で出てきたもので、あと3点ぐらいお願いしたいんですけども。

今の、「評価」のところで「食育では」という言葉が入ったので、1行目、「食育では、各校の取組に対する事業評価では」というふうに「では」が重なってしまうわけですね。シートの方では「食育では」という言葉がないので問題がないんですけど。「食育では、各校の取組に対する事業評価（4段階）について」とか、シートと変わりますが、それが一番簡単かなと思います。こっちを「について」に変えて、シートの方はそのままがいいと思うんですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(雲尾委員長)

それから「市の対応状況」のところで、1つ目の小学校の話ですけども、「小学校においては起床時刻の改善や朝食を欠食する児童の割合が減少し」になるんですけども、これ、「…し」っていうのは動詞なんですよ。だから「減少する」っていう動詞なんですけど、その前は「改善」なので、これは名詞で切られるんですよ。だから対応が悪いので、そうすると、どちらも名詞化する方がよくなるわけですよ。だから「小学校においては起床時刻の改善や」あるいは、その次は「朝食を欠食する児童の割合の減少が見受けられ」ということにしないと。ですから「児童の割合の減少」として、括弧の後の「…し」を「が見受けられ」と変えるということで、文章がよくなるかと思うんですね。

(村田委員)

これって生活習慣ですよ。朝起きるにはどうだとか、こうだとかいう。ですからもう生活習慣の改善ということは、ここに記載されているというわけですよ。

(雲尾委員長)

はい。

(村田委員)

はい、すみません、よくわかりました。

(雲尾委員長)

あと、下の写真なんですけど、「かわいいパンダのおにぎり弁当」という説明なんですけ

ど。確かにかわいいパンダなんですけど、このお弁当の趣旨を書いていた方がいいと思うんですよね。子どもがつくっている弁当の実物だということを書いていただかないと、かわいいパンダばかり書いても、それはそれでいいんですけど。お弁当の趣旨の方で説明していただきたいと思います。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「子どもがつくったかわいいパンダのおにぎり弁当」に修正させていただきます。

(村田委員)

彩りに工夫があるとか、形が何とかしているとか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。栄養バランスまではわかりません。

(雲尾委員長)

そのほか、1の(4)よろしいでしょうか。ありがとうございました。

では1の(5)でございます。これにつきまして、いかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の11ページの「評価」のところですけど、この上から4行ですけれども。この、今、これでいくのかどうかというのを検討すべき段階に来ているというのは、それはそのとおりだと思います。でも、この報告書ではB評価になった根拠に、どんな指標を置いているかということはどこかで述べて、表記しているというのではないと思うんです。それで、ここでは25年度のいじめの認知数が減少してきて25件になったということを述べるべきではないかと思います。

それから、2つ目は「今後の方針」のところ、3行目、4行目ですけれども、「実態調査充実のためにカウンセリングを拡大する」という文になっていますけれども、そうではなくて、実態調査から見えてきたいろいろなこのいじめ撲滅のためにカウンセリングを拡大するのだと思いますので、この表記は見直した方がいいのではないかと思います。

(雲尾委員長)

1点目の「評価」のところは、要は1文目はいらないということですかね。1文目は、あるいは「今後の方針」にもっていった方がいいとかいうことになりますかね。

(村田委員)

そうですね。

(雲尾委員長)

内容的には、その2文目の内容が「評価」の内容をあらわしているもので、それはそれでいい。ただ1文目はこの、あるべきじゃないんじゃないかということで、そのまま、行数のバランスが大分悪くなりますが、「今後の方針」の方にもっていきべきではないかという

ことですね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

それでよろしいでしょうかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。では、1文目を「今後の方針」の方に入れさせていただきます。

あと、2つ目のご指摘についてでございますが、文章がつながりませんので、「いじめ実態調査から」……。

(雲尾委員長)

いじめ実態調査の充実のためにハイパーQ U心理検査を行っていて、その中の「非承認群」等にプロットされた児童生徒へのカウンセリングを拡大するってということですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい、そのように整理したいと思います。

(雲尾委員長)

その中でこの群にプロットされている児童生徒への、「いじめ実態調査への充実のために、ハイパーQ U心理検査を行い、その中で」

(樋山小中一貫教育推進課長)

「その中で「非承認群」」続けて、「カウンセリングを拡大する」。そのように訂正させていただきます。

(雲尾委員長)

先ほどの「評価」のところ、その残った一文ですけど、「未だ不登校状態に悩む生徒保護者が多い状態にあるため」とありますが、児童は悩んでないんですかね。児童は多くないから外してあるんですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

いえ、そんなことはございません。1人でも、2人でも、やはり悩んでいる生徒、児童、保護者が多い状態と考えております。

(雲尾委員長)

その直前に「不登校児童生徒数は減少傾向にあり」とありますが、ここは「未だ不登校状態に悩む生徒保護者が多い状態にある」ので、そうすると「児童生徒保護者」ですかね。長いので、「児童生徒・保護者」にしてもらった方がいいですかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「児童生徒・保護者が多い状態にあるため」に修正します。



(雲尾委員長)

ということで、あと1の(5)はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、今の部分も、シートの方も直していただくということになるかと思います。

続きまして、1の(6)でございます。ここにつきましていかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の12ページの「評価」のところですけども、最初に「指導員の配置については、目標値に達したが」って出だしなんですけれども、この文章の中で下から2行にわたって書いてある「学校の特別支援教育への理解が進み、通常学級に在籍する児童生徒も対象にした一人一人の特別な教育的ニーズへの対応が浸透してきた」その対応を求める声が浸透してきたという、これが現場における配置希望が高まっていることの背景の一つだと思うんですね。ですので、これを一番頭に出していったらいいのではないかと思うんですね。そして、指導員の配置については、目標値に達したんですけども、年々要望が高まってきているのだということで。そして、この2行目から始まる「教職員の研修については、教育センター主催の新規事業として研修会を4回開催した」で切っておりますけど、「開催し、」にして、続けて「教職員のニーズに応じた実際的な内容にしていくように努めた」というまとめ方をしていったら、文がつながるのではないかと思います。

2つ目ですけども、「今後の方針」の4行目ですけど、「配置増の気運を醸成していく」とありますよね。この気運は高まっているんですよ。ですから配置増に醸成していくんじゃないかと、配置増に努めていくっていうか、そういうことではないかなと思いました。

それから3点目ですが、その下の「今後一層」のところからの文がすごくわかりにくいと思います。大体この月ヶ丘の特別支援学校が持っている専門的見地がある、それをいろいろとほかへも提供していくことでこの学校がそのセンター的機能を有するように、さらにそのセンター的機能を持つということを強く押し進めていくというか、そういうことをここでは言いたいのではないかと思うんですけども、文章をもう少し整理できないかなと思います。

(雲尾委員長)

簡単のところから行きましょうか。「評価」のところ、2文目の「教職員の研修については」の文章ですね。「教職員の研修については4回開催し、教職員のニーズに応じた実際的な内容にしていくように努めた。」に変える。これはいいですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

最後の2行を上にもって行って、そして、「浸透してきた」。そのため、そのためとはいらないんですけども、指導員の配置についてはこの方が確かに文章つながると思いますし。

「4回開催し、いくように努めた」ということに直させていただきます。いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

「学校の特別支援教育への理解が進み」というのは、これは主語が学校なんですね、要はね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そうです。学校の教職員です。

(雲尾委員長)

つなぎは、頭が置くだけですかね。つなぎの言葉は入れなくてもいいんですかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「そのため」が必要でしょうか。

(雲尾委員長)

対応も重なっているんですけど、「学校の特別支援教育への理解が進み」というのが、ちょっと言葉がとりにくいので、やっぱり「学校が」にしてもらった方がよくて。「学校が特別支援教育への対応を進め」とした方が、「学校の特別支援教育への対応を進め」だけだと、学校が特別支援教育をしてるっていうふうな理解っていうものも読めてしまうので、そこは「学校が」を主語にしてもらった方がいいだろうということなんですね。「学校が特別支援教育への対応を進め、通常学校に在籍している児童生徒も対象にした、一人ひとり」これ、一人ひとりの一人は、後半の一人では平仮名にしてるのが後の方でもありますので、そうしてもらった方がいいかなと思います。「特別支援教育への対応は浸透してきた」で、「そのため、指導員の配置については目標値に達しているものの、年々要望は高まっており」ですかね。「そのため、指導員の配置については目標値に達しているものの」と変えるっていうことでよろしいですかね。

(村田委員)

「対応」が、今、2つ続いて出てきましたよね。それ、何か変えた方がいいですよ。「最初の、その学校が特別支援教育への対応を進め」って今直していただいたところですけども、「学校が特別支援教育への理解を深め」にしたらいかがでしょうか。そしたら、その次の「教育的ニーズへの対応が浸透してきた」というのはそのままにしておくことができるかなと。

(雲尾委員長)

そうですね。「理解を深め」でいいですかね。確かに、学校が無理解であったのは確かなんですけど、あんまりそう書くと学校にかわいそうかなというふうに思っ

(村田委員)

かわいそうですね。

(雲尾委員長)

学校が状況的に対応できてこなかったというふうに思ったんですけど。まあ、実態はそう

ですし、文章的にもその方が通りがいいので。じゃあ、そのような形で、「学校が特別支援教育への理解を深めて」一人ひとりの、後の一人はひらがなに、「浸透してきた」で、これが一番最初について。で、「そのための指導員の配置については目標値に達しているものの」というふうにして文章が続くと。それで教職員については先ほど言ったとおりの改変であるということで、これはシートの方もこれに従って変えていくことが一つですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(雲尾委員長)

「今後の方針」のところですが、まず「気運の醸成」についてはどうですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。「努めていく」でもいいのだと思います。

(雲尾委員長)

「教員の配置増に努めていく」ですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。2点目、わかりにくいという御指摘なので、2文に区切っていきたいと思っています。あとは、月ヶ岡特別支援学校との連携については、月ヶ岡特別支援学校の専門的な知見を有した先生方を活用して、小中学校の職員の資質力の向上に努めていくという意味合いでございませう。ですから、小中学校の職員の研修会のときに、専門的な力のある先生をお呼びして研修会を開催する、簡単に言えばこういうことなんでございませう。わかりやすく表記したいと思います。つまり、「センターによる研修の充実と、教育相談の充実を図っていく。さらに」っていうことでいかがでしょう。

(雲尾委員長)

「充実を図る」で1文を終わるわけですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「図る」。「さらに」「加えて」がいいのか。センター的機能というのがわかりにくいんじゃないかと思ひます。

(村田委員)

「センター的機能」というのと、「地域の拠点校」という表現というのは、同じような意味ですよね。これ、「特別支援教育の地域の拠点校である月ヶ丘特別支援学校との連携を強化し」その次に、「同校の専門的知見を生かして研修を共同で実施していくと、同校のセンター的機能を押し進める」という書き方はどんなもんでしょうか。でもそうすると、また、同校の、同校のばかり出てくるので。

(雲尾委員長)

同校のセンター的機能を押し進めるわけにはあんまりいかない。それは向こう側のものから。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい、そうです。ですので、共同で実施する程度だと。

(村田委員)

じゃあ、そのセンター的な研修をとる。

(雲尾委員長)

研修を共同で実施するということですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(雲尾委員長)

個別評議計画等の策定等の支援はないんですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

担当指導主事が2人おりますので、大丈夫です。

(雲尾委員長)

それでも、研修会のあるわけですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。研修の講師を依頼することが多いです。

(雲尾委員長)

「同校のセンター的機能である専門的知見を生かすため」ってのは、なくてもいいってことですかね、そうすると。これがあるので重なってわかりにくくなるということで変えていただいて、これをシートにおいても同じように変えるということです。

では1の(6)、よろしいですか。

では2の(4)でございます。スクールアシスタント制度の充実につきましてはいかがでしょうか。シートは19、20ページ。報告書は19ページですね。

(村田委員)

主な事務事業の「補助的な業務を推進するうえで」の「うえで」は漢字を使ってもらってもいいですよ。

それと、2つ目ですけれど、「評価」のところですが、この「スクールアシスタントを希望通り配置でした」その次に「年2回の研修会は」と主語を入れて「研修の理解を深めることを目的として、同一講師による継続性を持った研修として実施した」というふうに、「年2回の研修会は」って頭の方に入れたらどうなんでしょうか。

3点目ですが、2行目の「参加者からいただいた」って、この報告書のあちこちに、その

前のシートのところでも言わせていただいたんですけど、「いただいた」とか丁寧語みたいなのは、あまりこういうのにふさわしくないような気がします。それで、「参加者からいただいた」と、「参加者の意見は好評だったが」でいいんじゃないかなと思います。

それから4点目ですけども、ここは「検討する」となってますが、それは「今後の方針」の書き方だと思いますので、「検討する必要がある」とかいうふうな、結びの表記をそういうふうにした方がいいんじゃないかなということを考えました。

それから5つ目ですけども、そのちょっと戻って、年2回の研修ですけども、どういう研修をしたのかなあっていうふうに思いました。何かその研修によっては参加がすごく落ち込んだり、あるいは2回目の研修会の参加数が減っているというふうなことを以前聞いたように思いましたので、こここのところで、ちょっとどういう内容の研修だったのかというのが表記できたら入れていただいてもいいと思いました。

(雲尾委員長)

まず1点目、「うえで」ですね。「主な事務事業の推進するうえでは」。これ、ほかのところはどうでしたっけ。こういうのが出てきたときに漢字になっていましたか。ほかと整合性を合わせていただくということで、シートと合わせて確認してください。

次ですが、まず「年2回の研修会は」と入れるということでもいいですかね、最初に。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「年2回の研修会で、研修の理解を深めることを目的にする」で、研修自体の内容を入れないと、ちょっと意味がとおらないということですか。

(雲尾委員長)

とおらないというよりも、入れてほしいという要望ですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

それは入れさせていただきます。研修内容については。

(雲尾委員長)

研修内容についてはちょっと後に置いて、先に文章の改善を行いたいんですけども。まず「年2回の研修会は」を最初に入れる、これはいいですね。「参加者からいただいた意見」、これは「参加者の意見」に変える。

(樋山小中一貫教育推進課長)

承りました。

(雲尾委員長)

文末が、「周知方法について検討する必要がある」を加えるということと。その真ん中のところに、「第1回目に比較して、2回目の参加率が15.8%に落ち込んでいる」ではなくて、「15.8%落ち込んでいる」なんです。69.7%が、53.9%に落ち込んでいるわけですから。

15.8%になったわけじゃないので。だから「に」を取ってもらおうということですね。で、これ、同じようにシートも直してもらおうということにした上で、その研修会の内容をどこかに入れるかどうかの話ですね、あとは。

(池浦教育部長)

1回目と2回目、何やってみました。

(樋山小中一貫教育推進課長)

特別支援教育に関する理解を深める。

(池浦教育部長)

2回目はどんな内容でしたかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

同じ講師、同じ内容を継続していました。

(池浦教育部長)

継続してってのは、全2回で。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。1回目、2回目と。また同じかということで落ち込んだんじゃないだろうかと。

(雲尾委員長)

研修の題名も同じだったんですか。講演題みたいな。

(樋山小中一貫教育推進課長)

全く同じではないと思いますが、そこまでは確認しておりません。

(池浦教育部長)

1回目、2回目の研修が同一テーマであったために、2回目の参加率が落ち込んだみたいな考え方ですかね。今まではずっと同じテーマだったんですって。

(樋山小中一貫教育推進課長)

いえ、そんなことはないと思います。

(池浦教育部長)

その辺も確認して。

(樋山小中一貫教育推進課長)

例えば「特別支援教育の充実」とか、そういうテーマだったならば、「のテーマで研修を行ったが」というような文章をどこかに挟めたいなと思いますが。

(池浦教育部長)

1回目、2回目の研修テーマが同一のように理解がなされたため、2回目、3回目が落ち込んだと。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「参加者からの意見は好評であったが」そこに挿入して「同一テーマ」で、括弧、何々についてであったため、「第1回に比較して、第2回の参加率が15.8%落ち込んでいることから、必要がある」という訂正でいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

さっきの、「参加者からの」じゃなくて、「参加者の意見は好評であったが」その後に、「同一テーマ」。

(樋山小中一貫教育推進課長)

括弧、例えば、「特別支援教育の何とかであったため、第1回に比較して2回目の参加者が、別テーマのため減少した」と、落ち込んだと。

(雲尾委員長)

「落ち込んだと思われる」で切った方がいいですね。ということでよろしいですかね。2の(4)につきまして。

では、2の(5)でございます。2の(5)につきまして、いかがでしょうか。

(村田委員)

「評価B」の下から2行目ですけれども、「実施され、学校評議員も兼務されている方が多く」となっているので、このところは「学校評議員を兼務する方が多く」というふうに変えてもいいと思います。「されている」と、丁寧な言葉を使わなくてもいいと思います。「兼務している」でもいいですよ。「兼務する」とか「兼務している」に変えたらどうでしょうか。

(雲尾委員長)

何であるんでしょうね、この文章。

(村田委員)

いろんな場面でその聴取しているということを重ねて言いたい文なんじゃないかなと思いました。

(雲尾委員長)

「その運営も部会や」の、「その」は、これ、何の運営ですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

小中一貫教育推進協議会の運営とつながるんですが。年3回の協議会の運営や。

(雲尾委員長)

「概ね目的に達した」のは、何の目的だとしたんですか、これ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

意見聴取について概ね目的に達したと。

(雲尾委員長)

意見聴取について。小中一貫教育推進協議会の目的に達したということではないんですね。  
(樋山小中一貫教育推進課長)

違います。この指標に対しての目的には達したと。学校教育を考える場をたくさん設定することができた、たくさん意見を聴取することができた。その目的を概ね達成することができたということでございます。

(雲尾委員長)

この間に「学校評議員を兼務する方が多く」が入るとちょっとわかりにくいので、やはり「年間3回ほど実施され」、あとのを取ってしまって「その運営も部会や小グループ協議など年々意見聴取に工夫をしている。」で一旦丸をふって切りますよね。で、「評議会委員には、学校評議員を兼務する方も多く」ですかね。その後をどうするかな。

(樋山小中一貫教育推進課長)

小中一貫教育推進協議会には学校評議員の方が多く含まれているということを言いたいのですが。

(雲尾委員長)

ちょっと、ここ、ややこしいので、ちょっと休憩取らせていただいて、15分まで休憩を取りますので、休憩の間で申しわけないんですけど、その間に訂正した案を出していただければと思いますので、お願いします。

(樋山小中一貫教育推進課長)

すみません。ありがとうございます。

——休憩——

(雲尾委員長)

2の(5)から再開ですが、完全な変更が出なかったということで。ここに書いてあることはちょっと通りにくいので、この趣旨を生かしながら、筋が通るように変更していただくということでここは御了承いただきたいということでございます。

(樋山小中一貫教育推進課長)

よろしくをお願いします。

(雲尾委員長)

では、ほかに2の(5)ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(渡邊委員)

評価シートの22ページの総合評価のAの前の空欄のカタカナって、何か間違っただけのものですか。

(雲尾委員長)

評価シート22ページの、総合評価Aの前を空欄にさせていただくということですね。



(樋山小中一貫教育推進課長)

ここは空欄ですね。

(雲尾委員長)

あとは何か、よろしいですか。

- ・子育て支援課所管分について、久住子育て支援課長から説明あり

(雲尾委員長)

では、まず2の(1)からお願いいたします。2の(1)ですね、シート13、14ページ。報告書14、15ページですが、いかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の「評価」の1行目ですけれども、「平成25年度は一ノ木戸、裏館小学校においては」となっていますが、「一ノ木戸、裏館小学校における開設を予定していたが」と書いた方がはっきりすると思います。

(雲尾委員長)

「平成25年度は一ノ木戸、裏館小学校における開設を予定していたが」ですね。ということで、シートも同じように変えるということをお願いします。

(久住子育て支援課長)

はい。これ、一ノ木戸の、「・」じゃなくて「、」の方がいいですね。

(雲尾委員長)

そうですね。これだと1つの学校のように。

あとは15ページの写真ですけども、最初のお楽しみ会の写真を、これは子どもたちばかりですし、一応「勉強、スポーツ、文化活動」と書いてあるので、勉強がないので、地域の人と勉強している写真とかありませんかね。できれば。

(久住子育て支援課長)

はい。文化活動とか、ちょっと何かしている写真を。

(雲尾委員長)

あとはスポーツ、文化活動というふうに並んでいるので、勉強している写真があった方がいいかなと思います。しかも地域の方が入っているのがあれば一番ありがたいですので、探していただければと思います。

(久住子育て支援課長)

はい。

(雲尾委員長)

2の(1)につきまして、ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では続きまして2の(1)でございます。家庭教育講座につきまして、シート15、16ページ、報告書16ページで、写真のキャプションを変えることが先ほどお話にありました。そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

- ・生涯学習課所管分について、長谷川生涯学習課長から説明あり

(雲尾委員長)

では、まず2の(3)ですので、シートの方が17、18ページですね。報告書の方が17ページ、18ページというふうになります。これにつきましていかがでございますでしょうか。

2の(3)、「子どもと親の読書活動」でございます。

報告書の方が見やすいですかね、しかけ絵本日本一プロジェクトの説明の下にあるんですけども、平成25年度、これ月例ですかね。

(長谷川生涯学習課長)

例月です。

(雲尾委員長)

例月でいいんですか。

(池浦教育部長)

市民の方が見られても、意味わかんないですね。

(雲尾委員長)

月例会議じゃないんですね。例月会議なんですね。

(池浦教育部長)

月例会議っていうんですが、これはなくてもいいですよ。我々内部の人間がわかるだけで。

(長谷川生涯学習課長)

そうですね。

(雲尾委員長)

誰がとか、どこでとか。どういうことなんですか。

(長谷川生涯学習課長)

実は市の方で、こういった例月の政策会議がございまして、そこの中からこのしかけ絵本というツールですか、やり方が提案されて、それが採択になったという事業です。

(雲尾委員長)

具体的にどこが提案したんですか。

(池浦教育部長)

所管課のアイデアではないってところが、ここにあらわした意味なんですね。

(雲尾委員長)

これは庁内会議とか、そういうことですか。

(池浦教育部長)

そうなんです。庁内の若手職員を中心としたプロジェクト会議なんですよ。その場で提案があったものを基にここができたということの説明なんですけれども、あえてこれ例月政策会議という表現をしても市民の方はおわかりにならないから。

(雲尾委員長)

どこの会議かはわかりませんね。教育委員会なのか、本庁なのかがわからないので。本庁の会議とかなんですか。

(池浦教育部長)

なくてもいいのかなということなんですけれども。

(雲尾委員長)

「平成 25 年度例月政策会議で提案された事業で」の部分を取るということていいんですかね。

(長谷川生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

で、そこでもうちょっと、「しかけ絵本を集めるとともに、子育てに特化した図書館にする」ということは、しかけ絵本を集めるとのことと、子育てに特化した図書館にするというのは別の政策なんですか。

(長谷川生涯学習課長)

集めることを別にするのではなく、一体的な部分として取り組みたいということです。集めることがすなわち、子どもたちのための図書館に結びつくという考え方です。

(雲尾委員長)

そうすると集めるとともにということは、集めることも特化した図書館に含まれますね。

(長谷川生涯学習課長)

ただ、集めることだけで子どもたちのための図書館にするわけではなく、ほかにもいろいろなことを考えてやっていきたいという部分はあります。今、カーペットを敷きかえて子どもたちがいつでも来れるようにとか、それから既に、時間帯を区切って親子で声を出して話すことができるような形にして、なるべく図書館に親子で一緒に来てもらえるようにしたいと考えています。

(池浦教育部長)

図書館を、子育てに特化した図書館とするため。

(雲尾委員長)

「しかけ絵本を集めることなどにより」ってということですよ。

(池浦教育部長)

「集めたり、実行委員会を立ち上げ、さまざまな」ってやれば、多分趣旨が通りますね。

(雲尾委員長)

このままだと、しかけ絵本を集めることと、子育て特化が別なことに読めるので。「しかけ絵本を集めることなどにより」か、あるいはもう少し例示をするかしていただきたいということで、シートも合わせて改変をお願いいたします。

あと、後ろの写真ですが、「ブックスタートで絵本を楽しむ親子」と書いてあるので子がいるのはわかるんですが、写真上は子が見えない。

(村田委員)

かわいい手が。

(長谷川生涯学習課長)

なかなかいいのがなくて。

(雲尾委員長)

なかなか子どもがはっきり写っているのはないんですかね、これ。

(長谷川生涯学習課長)

探したんですけれども、なかなか。

(雲尾委員長)

要するに親子がちゃんと、子どもまではっきり写っているのがなかったってことなんですよ、要はね。

(長谷川生涯学習課長)

はい。あまりいいのがなくて。本を見せてるところも写したかったのですが。

(雲尾委員長)

3冊並べてますからね、絵本をね。それを選んでるところなのかなみたいな。

そのほか、2の(3)はいかがでしょうか。よろしいですか。

では、2の(3)を終了いたしまして、今度は3の(1)ですね。シートの方は23、24ページでございます。報告書は22、23ですね。これにつきましていかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の22ページの「主な事務事業」の①の表現ですけれども、「子どもたちが」というのを最初に出して主語を明確にするとか。「子どもたちがさまざまな体験活動を通して」。

(雲尾委員長)

後にある「子どもたちが」ですね。2行目にある「子どもたちが」を、前に持っていく。

(村田委員)

2つ目ですが、「評価」の2行目ですが、「参加者から概ね満足していただくことができた」というところは「概ね満足の評価を得ている」にしたらいかがでしょうか。

それから3つ目ですが、3行目の「いただき」というところは、「申し込みがあり」程度でいいんじゃないかと思いますが。

(雲尾委員長)

ということで3点ですね。「子どもたちが」を前に持って行って、「子どもたちがさまざまな体験活動を通して知的好奇心や想像力を豊かにし、自立心の育成や参加者同士の交流を図れるようにするための」。

(村田委員)

「図る」でもいいですよ。それでもいいんじゃないかなと思います。

(池浦教育部長)

「子どもたちに」にして、「さまざまな体験活動、交流を図れるようにするために」。

(雲尾委員長)

「子どもたちに」。

(池浦教育部長)

「さまざまな体験活動を通して」以下いきまして「参加者同士の交流を図れるようにするための事業を推進する」だとよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

「子どもたちに」にすると「知的好奇心や想像力を豊かにし」が。

(池浦教育部長)

そうですね。「図ることができるようにするため」ですか。

(雲尾委員長)

「自立心の育成や参加者同士の交流を図る」の、「子どもたちが」が主語にいつちゃってると、完全に切れてないとそこは読み取りにくくなるんですね。そうすると、教育委員会を主語にすると「子どもたちが」じゃなくて、「子どもたちの」にして、「さまざまな体験活動を通して、子どもたちの知的好奇心や想像力を豊かにし、自立心の育成や参加者同士の交流を図るための事業を推進する」ということですかね。「さまざまな体験活動を通して、子どもたちの知的好奇心や想像力を豊かにし、自立心の育成や参加者同士の交流を図るための事業を推進する」とすればどうでしょう。これが1点目ですね。

「評価」のところで「いただく」が2か所あるということですね。「参加者から概ね」。

(村田委員)

「概ね満足の評価を得ている」でいいんじゃないかと。

(雲尾委員長)

「概ね満足の評価を得ている」。

(村田委員)

3つ目は「申し込みがあり」でいいんじゃないかと。

(雲尾委員長)

「多数の申し込みがあり」ですね。「があり」と変えるという。これはいずれも評価シートも変えるということになりますね。

あと、1点お伺いしたいんですが、23ページの最後のところに「まちなかの文化文教施設を拠点に」とあるんですけど、ほかは全部「文教施設」なんですけど、ここだけ「文化」が入ってるんですよ。

(長谷川生涯学習課長)

「文教施設」に統一させていただきます。

(雲尾委員長)

じゃあ、ここは「文化」とるということでいいですかね。じゃあ、シートも含めて「文化」を取って、「文教施設」にすること。そのほか3の(1)よろしいでしょうか。

(村田委員)

23ページの写真のわんぱく大学、何か楽しそうにやってるここ、何やってんのかというか、事業の名前が入ったらいいと思いますが。

(雲尾委員長)

わんぱく大学は青少年体験教室の一部ですかね。

(長谷川生涯学習課長)

そうです。例えば桃の収穫に行ったり、見学に行ったりということをやっています。わんぱく大学で何をやっているかということをちょっと入れます。

(雲尾委員長)

まず、青少年体験教室と書いていただいてですね。その上で、わんぱく大学での何々の活動みたいを書いていただくということで。

(長谷川生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

では、3の(1)はよろしいですかね。では、続きまして3の(2)でございます。ここについてはいかがでしょうか。

(村田委員)

報告書の24ページの「主な事務事業」の③ですけど、さっきおっしゃったのはここでしょうか、心と体ですよ。そしたら、次の「評価」のところなんですけれども、「また」から始まる段落の2行目、「文化交流の場」を設け、さらには、歴史的建造物や小路を巡るスマートウェルネス三条の視点を取り入れて開催した結果」という表記ですが、スマートウェルネスの視点を取り入れた、何かこの体験の場みたいな、名前みたいのはないのでしょうか。あるいは、「歴史的建造物や小路を巡る」ということがそれであるならば、「スマートウェルネス三条の視点を取り入れた」、かぎをつけた前の文の「学びを発表する場」や「文化交流の場」に相当するものがここに入ると、「を設け」というふうが続くとすごくわかりやすいと思うんですけども。ここだけが何かちょっと違う書き方みたいだなと思います。

(長谷川生涯学習課長)

今年は体験的なものを実施できないか考えています。去年は、ただ、この歴史的建造物を見て、中に入って、例えば、そこが食べ物を売るお店屋さんであれば、何か食べてもらうといったことはやっていません。

(雲尾委員長)

ですから文章が、このままだと「歴史的建造物や小路を巡るスマートウェルネス三条」、つまりスマートウェルネス三条というのはそういうものだということになってしまいますので。スマートウェルネス三条の視点というのは、歴史的建造物を巡るものが視点だということではないですね。ですから、一番簡単な解は、取り入れて開催した何々の結果というふうにして、事業名が入ればいいわけですけども。根本的に変えるには、その、そもそも「巡る」がスマートウェルネス三条にかからないようにしたものにした方がいいんじゃないかということですね。「スマートウェルネス三条の視点を取り入れて、歴史的建造物や小路を巡る何々を開催した」というような方が一番いいかなと思うんですけども。まあ、その開催したものがわからないので。じゃ、それは後で修正していただくということでお願いします。

(村田委員)

もう1ついいでしょうか。25ページの「今後の方針」の続きが、ここに文がありますが、「積極的に推進していく」で、「必要がある」はいらないと思いますが。その方が、今後の方針として。

(雲尾委員長)

「積極的に推進する」ですかね。

(村田委員)

はい、「する」ですね。はい。

(雲尾委員長)

では、3の(2)はよろしいでしょうか。

続きまして3の(3)、「学習成果を生かす仕組みづくり」でございます。いかがでしょうか。

「今後の方針」の最後ですね、「その人材が活用できる」が、これ、「活用されるような」というふうに変えていかないと。つまり人材が主語なのかというふうにとれるので、「人材が活用されるような仕組みづくり」というふうにさせていただきたい。これはシートも同じなんです。

あと、27ページの写真ですけども、これは室内レク・ゲームリーダー養成講座ですけども、要はレクリーダー養成講座の中の室内版ですよ。それと主な事務事業を優先させて書いていただくと、レクリーダー養成講座で、この日の題名を書いていた方がいいかなというところでお願いいたします。

(長谷川生涯学習課長)

はい、わかりました。

(村田委員)

26ページの文の末尾ですけど、前と同じように「必要がある」というのはいらないと思います。

(雲尾委員長)

「取り組む」。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

では、続きまして4の(1)でございます。「文化遺産の詳細調査・文化財指定」につきましていかがでしょうか。

(村田委員)

報告書ですが、「評価」の下から2行目のいしぶみ巡りというのがありますよね。これは事業名で下田郷のいしぶみめぐりというのが事業名ならば、かぎつけて。24ページ、「小路を巡る」というので漢字が使っているんですよね。それで、いしぶみめぐりというのは事業名でなければ、これ、めぐりというのは前と同じように漢字を使ってもいいのじゃないかな、事業名であればかぎをつけて何とか巡りというふうにひらがなで表記されるかなというふうに思うんですけども。

(雲尾委員長)

これは、ひらがなで書いてあるのは、事業名だからってこと。

(長谷川生涯学習課長)

いや、これは事業名ではない。いしぶみ巡りというのは、ただ、要するにいしぶみ巡りを



全体的に捉えているので、別に事業名という形ではなくて。

(雲尾委員長)

市民がいしぶみめぐりをできるように案内版を設置したりとか、そういったようなことを指すわけですよ。

(村田委員)

そしたら、24ページと同じように、巡るというのは漢字で書いてもいいわけですよ。

(雲尾委員長)

そうすると、下田郷資料館でのパネル展示をできるようにした、いしぶみめぐりをできるようにしたというのは、ちょっとおかしいわけですよ。

(村田委員)

巡ったわけじゃないので。

(雲尾委員長)

いしぶみ巡りをできるようにしたというのは、いしぶみ巡りの。パネル展示ってのは、これ、資料館の方だけ書くんですよ。

(長谷川生涯学習課長)

そうですね。いしぶみがあるんですけども、その場所がどこにあるかということがわかるように整備しなければならないと考えています。

(雲尾委員長)

いしぶみ巡りの案内表示をしたんですよ。

(長谷川生涯学習課長)

まだ案内表示までは完璧にはできてないんですけども、どこに何があるかという調査をして、それを見れるようにはなっているんですが。ただそれがあるだけでは、仕方がないわけですから。今後そういったものについてしっかり資料館でパネルをつくったり、説明をしたり、コースに誘客をしたりというようなことを今考えてるんですけども、その前段階の部分でこういうことが出てきたということでの1つなんです。

(雲尾委員長)

そうすると、いしぶみ巡りをできるようにはしたのですかね。

(村田委員)

下田郷資料展で展示したのは、いしぶみ巡りの資料だけじゃなくて、ほかのいろんなものもパネル展示をしたんですよ。

(雲尾委員長)

「その成果を生かして」の後はどうなりますか。

(長谷川生涯学習課長)

その成果を生かして去年は、下田郷資料館でいしぶみのパネル展示をしたんです。

(雲尾委員長)

「その成果を活かして下田郷資料館でいしぶみのパネル展示を行った」ということですか。

(長谷川生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

シートも同じですね。後はいいですか。

30 ページの、その写真の右上のものですけど、これ、並び順からいうと鉄斧が一番最初に、左ですよ。鉄斧、四獣鏡、鉄剣と並んでますよね、これ。ちょっと写真で、どっちが斧か、剣かわからないんですけど。

(長谷川生涯学習課長)

じゃ、これ、順番に。

(雲尾委員長)

写真を並びかえるわけにいかないですもんね。

(長谷川生涯学習課長)

文字を直させてください。変えさせていただきます。

(雲尾委員長)

重要度の順番はそんな感じじゃないですか。じゃ、文字で鉄斧を一番前にもっていくというところでお願いします。では4の(1)はよろしいですかね。

では4の(2)でございます。「埋蔵文化財の調査・保護」についていかがでしょうか。

報告書の31 ページに新たに目的が書かれたんですけど、これ、シートにないのが入ってきたので、「を」が2つつながっているんですよ。「埋蔵文化財を開発行為にともなう発掘調査を」になってしまっているの。報告書31 ページ、4の(2)の「目的」のところです。「地域の財産である貴重な埋蔵文化財について」ですかね。について、「開発行為にともなう発掘調査を実施し、保護すること」は、元々のシートに書かれている言葉ですから、こちらはそのままにすると、最初の方の埋蔵文化財についてにしていきたいということをお願いします。

そのほか、4の(2)はよろしいでしょうか。

では、4の(3)でございます。「文化遺産の公開・活用」についてはいかがでしょうか。

(村田委員)

「三条かぐら鑑賞会」はひらがなで、「栄神楽鑑賞会」は神楽が漢字で、「三条神楽保存会」は漢字の神楽を使っている。それでよろしいでしょうか。

(長谷川生涯学習課長)

はい。③のタイトルの「三条かぐら鑑賞会」の、神楽のひらがなはこの字です。それから「栄神楽鑑賞会」の漢字は、この字です。確認した結果、そうになっています。

(村田委員)

保存会自体は漢字を使っているんですよね。

(長谷川生涯学習課長)

そうです。

(村田委員)

もう1ついいでしょうか。さっきからめぐりにこだわっているみたいですが、32ページ、「下田郷いしぶみめぐりや、下田郷昆虫の展示会を受け」、このところなんですけど、この事業、これも下田郷いしぶみめぐりという事業ではないわけでしょうか。

(長谷川生涯学習課長)

そうですね。下田郷の文字は取らせていただきます。

(雲尾委員長)

そのほか4の(3)よろしいでしょうか。ありがとうございました。

これで4の(3)までいきましたので、それでは質疑が終わりましたので、後の進行は事務局にお返しいたします。

(池浦教育部長)

雲尾委員長、大変ありがとうございました。今後のスケジュールについて教育総務課長から説明させていただきます。

(笹川教育総務課長)

それでは、私の方から今後のスケジュールについてお話をさせていただきます。本日いただきました御意見等を踏まえまして、報告書の修正版を、本日夕方メールにて各委員の皆様方に送信をさせていただきたいと思っておりますので、最終確認をお願いいたします。再修正等がありましたら、日にちがない中で大変申し訳ないんですけども、8月24日の日曜日の正午までにメールにて御連絡をいただくようお願い申し上げます。メールでの再修正の連絡がなければ御了承いただいたということで8月25日に開催する教育委員会定例会にお諮りをし、その後、市議会への報告、市民への公開になりますので、よろしくお願い申し上げます。

### (3) 閉会

(池浦教育部長)

本日は長時間にわたりまして、大変貴重な御意見、御指摘をいただきました。ありがと

うございます。例年のことでございますけれども、いつもこの2回の充実した会議のほかに、御自宅の方でも作業をしていただくような御負担をおかけしてしまっていることを、また今年もあらためて感じている次第でございます。

前回申し上げましたが、来年度は仕方ないまでも、仕組み自体も少し見直す必要があるのかなという感想を持っているところでございます。

委員の皆様のおかげを持ちまして、これほどのすばらしい形で成果品としてできる見通しが立ったところではないかと思えます。本当に2回にわたりまして、大変ありがとうございました。御礼申し上げます。

〔閉会〕 正午